



寄せ植え&ハンギングバスケット教室

10月3日(日) 10:00~

手作りのお花で家庭や地域を飾りましょう。
詳細は別配布のチラシをご覧ください。



秋の教室へのご参加お待ちしております。

予告

「楽しいエクササイズ教室」
(女性対象)
11月7日(日) 午前10時~

＜初心者向けのやさしいボクシング。詳細は10月にお知らせします。＞

10月の行事予定

3日(日) …寄せ植え&ハンギングバスケット教室
20日(水) …区長会

10月のココカラ元気教室

5日(火)・19日(火)
時間: 13:30~15:30



＜10月の祝日＞

今年に限り、「スポーツの日」(10月第2月曜)は7月に移動した為、10月11日(月)は平日になります。
(公民館は月曜の為、通常通り休館になります。)

10月の休館日

＜公民館＞

4日(月)・11日(月)
17日(日・第3)
18日(月)・25日(月)

＜児童館＞

2日(土)・3日(日)
9日(土)・10日(日)
16日(土)・17日(日)
23日(土)・24日(日)
30日(土)・31日(日)

917-0045 福井県小浜市加斗 30-35

加斗公民館 開館時間 8時30分~17時30分

休館日 毎週月曜日・第三日曜日・祝日

電話番号・FAX: 0770-52-5136

HP アドレス: http://www1.city.obama.fukui.jp/obm/kouminkan/kato_k/

または、検索エンジンで「加斗公民館」と検索してください。

E-mail: ph-kato@city.obama.fukui.jp



加斗公民館

—毎号の公民館だよりにて、
皆さんのお声を集めています。—

＜地域で暮らしている中で、お困りごとはありませんか？＞

ご記入いただき、切り取って各区の区長さんまで提出してください。

キリトリ

(差し支えない方は連絡先を教えてください。今後ご相談等させていただく場合があります。)ご連絡先



西の玄関から加斗のたより

ひまわり

令和 3年 9月 17日 発行
発行所 加斗公民館 399号
小浜市加斗 30-35
(電話) 52-5136
(FAX) 52-5136
世帯数 441世帯・合計 1,225人
人口 男 596人・女 629人



「無事に届きますように!」

9/15(水) 加斗保育園の「祖父母への手紙投函」がありました。

「敬老の日」にちなみ、園児たちが自身のおじいさんやおばあさんへ宛てた手紙を投函しました。「どんかど公園(下加斗)」の郵便ポストへ一人一人順番に入れていきます。自分より高い投函口に一生懸命、背伸びして入れる子、大きい年齢の子になると同じ高さでストンと入れられました。今の時期なかなか家族で会えない方も多い分、届いた手紙を読んでお孫さんの成長を喜んでおられることでしょう。

加斗駅の自転車置き場を改修しました

老朽化や利用者の減少が進んでいることから、夢づくり協議会、区長会で協議し、今後も使いやすい自転車置き場になるよう、この度改修を行いました。



小学校体育館利用団体の皆様へ

県の「緊急事態宣言」が「感染拡大特別警報」に切り替わったことを受け、9月13日(月)より一般団体への開放を再開しました。引き続き感染防止対策に基づき活動してください。



祝

—敬老会対象者へ記念品を贈りました—



今年度の対象者は294名、そのうち13名の方が米寿を迎えられました。(8月5日現在) 全員に鯖缶のセット、米寿の方へはさらにフルーツゼリーのセットをお配りし、お祝いとさせていただきます。



いつまでもお元気で…

令和4年度・5年度は昭和25年4月1日以前に生まれた方が対象です。来年こそ無事開催できますように…。

—加斗のことばで語る民話— 「おんば様」

「ほやほやみつげ隊」でも紹介された加斗地区に伝わる民話「おんば様」。以前、「加斗地区いきいき村づくり委員会」で発行した「ふるさと『加斗』の旅」に掲載された物語をもとに、今回は”加斗弁”で語ることに挑戦しました。



村人を守っていてくださる優しい仏様

昔、むかしなあー。
雪の降る歳の暮れの丹後街道を、食べ物乞いながら旅をする母と娘がおったんや。

足を引きずりもって歩いとったら、いつの間にやら岡津にたどりついてなあー。寒うて日も暮れて、行くあてもなかったんで、この辺りを治める庄屋さんのお屋敷に一晩泊めてもらうことになったんや。娘の手を引いて門口に立って、お願いすると、庄屋の奥さんは優しい母と娘を招き入れて、あったかいいろりで食事もお出してくれたんやてー。

けんどな一、長い旅の疲れと、ホッとして気の緩んだんか、母親は倒れるように床につくと、村人の看病もむなしく、とうとう亡くなってしもうたんや。残された娘のお福さんは「お母さんの霊を弔うために旅に出ます。」と言うと、哀れに思った庄屋さんが「私らには子供がおらんさかい、うちの子になっておくれんか。」と言うて、庄屋さんの家においてもらうことになったんや。やがて優しい、美しい娘に成長したんや。

「嫁に欲しい。」と村の若い衆が通うたが、お福さんは「私は仏様にお仕えする身です。」と断り続け、やがて仏門に入んなったんや。

あるとき、お福さんに乱暴しようとした村の若い者が断られたことを深く恨んだ若者が、代官に訴え出たんや。代官は、かねて、年貢のことで百姓をかばい自分の命令を聞かない庄屋を困らせてやりたいと考えていたので、これ幸いとお福さんを代官所に引っぱっていったんやて。お福さんは悲しむ村人に「必ずこの村に戻ってまいります。育てていただいたご恩は一生忘れません。」と言うて、船に乗せられて連れていかれたんやて。船が沖に出ると、急に激しい雷雨が起こってなあー、海は大荒れになり、代官やその家来たちは、船もろとも、海の底深く沈んでしもうたんや。けんど、お福さんが入れられていたかごは、どうしたもんか、荒れ狂う波の間をスイスイと進んで、やがて岡津の浜に打ち上げられたんやて。

庄屋さん夫婦や村人たちが、急いでかごを開けてみると、そこにお福さんの姿はのうて、美しい姿をした仏様が座とんなったんや。

あんまりに不思議なことで、庄屋さんや村人はただただ驚いて、「これはお福さんが村の難儀を救ってくれたに違いない。恩返しに、悪い代官をこらしめてくれたんや。」と伏して仏様を拝み、村の守護として、お姥ヶ谷にお祀りしたんや。

それからは、村も平和となり誰いうことなくこの仏様を「おんば様」と呼ぶようになって、村人の信仰を集めるようになったんや。

時代が移り変わって、お参りしやすいように思って仏様を海岸の辺りに移転したら、「波の音は嫌いじゃ。」というお告げがあったんで、それで、静かな現在の「堂の奥」にお祀りすることになったと言われているんや。

今も村の人たちは大切に守り伝えているんやで。

参考文献：「ふるさと『加斗』の旅」
今回の掲載にご協力いただいた杉崎さん
ありがとうございました。

加斗地区が紹介されたよ！



9/7 (火) NHK福井「ほやほやみつげ隊」の取材がありました

放送は9月13日でしたが、皆さんご覧になりましたか？
加斗駅や蒼島、おんば様等の名所が紹介され、加斗の魅力が他地域の人たちにも伝わりました。出演にご協力いただいた地域の方々、本当にありがとうございました。

台風にご注意

- 非常用品を備えましょう。
 - ハザードマップを確認しておきましょう。
(洪水や土砂災害のおそれがある場所はどこか？避難場所はどこか？)
 - 強風で飛ばされそうな物は室内に入れ、難しい物は固定しましょう。
 - 窓や雨戸を補強しましょう。
 - 生活用水を確保しましょう。
 - 家財や家電を2階や高所へ移動させましょう。
- ＜「警戒レベル4」までに必ず避難！＞

少しずつ
近づく秋



(9/7)駅の花が
とてもきれい♪
塚本さん、大井
さんありがとうございます。



(9/9)民話の
打ち合わせで杉
崎さんを訪ねると「ショウガ」の花を見せてもらえました。



杉崎さんより「文芸若狭」を寄付いただきました。



山崎さんの「明治・大正・昭和の人から教えられたことば」
〈ない知恵を絞って人の三倍考へる〉

